

令和4年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	福祉保健課
評価対象期間	平成30年4月1日～令和4年3月31日
施設種別	社会福祉施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市多世代交流プラザ						
	所在地	大分市大字野津原800番地						
	設置目的	世代間の交流及び高齢者等の健康の増進を図るとともに福祉に関する市民の自主的な活動を促進することにより、市民の福祉の向上に寄与するため						
指定管理者	施設の建築年 (又は事業開始年)	平成12年						
	名称	社会福祉法人 大分市社会福祉協議会						
	代表者名	会長 江藤 郁						
指定管理業務の内容	所在地	大分市金池南1丁目5番1号 J:COMホルトホール大分4階						
	内容	①管理施設の利用に関する業務 ②福祉に関する各種相談、援助及び指導に関する業務 ③教養の向上及びレクリエーションに関する業務 ④健康の増進に関する業務 ⑤管理施設の維持管理に関する業務						
	料金体系	-						
利用料金制	未導入	選定方法			任意指定			
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日 (5年間)			導入年度		平成18年度		
利用者数 (単位:人)		R3年度 目標④		8,000		達成率 ①/④		34%
17年度② (前年度又は 制度導入年度)	29年度	30年度	R1年度	R2年度③	R3年度①	17年度比 ①-②	R2年度比 ①-③	
7,208	8,605	8,101	8,472	2,628	2,701	▲ 4,507	73	
管理運営経費の削減額 (直営時比較・前指定期間比較) (単位:千円)								
直営時 管理運営経費(b)	前指定期間 最終年度29年(c)	30年度	R1年度	R2年度	R3年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)-(b)	前指定期間比較 (a)-(c)	
6,574	4,423	5,087	5,084	5,262	5,262	▲ 1,312	839	
利用者満足度 (%)		満足	やや満足	配置職員数 (人)		直営時又は導入1年目	令和3年度	
		70.0	18.1			2	2	

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価レベル	得点
1 施設の設置目的の達成 (有効性の向上) に関する取組	40		28
(1) 施設の設置目的の達成			
①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。	20	3	12
②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。			
③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。			
【評価の理由】			
利用者数(目標): 8,000人 利用者数(実績): (H30)8,101人、(R1)8,472人、(R2)2,628人、(R3)2,701人 平成30年度と令和元年度については目標を上回る利用があったが、令和2年度と令和3年度については目標を大きく下回った。これは、新型コロナウイルス感染症の影響によるものであり、自主事業についても感染防止対策を講じる中、可能な範囲で実施したところではあるが、目標を達成することはできなかった。			
(2) 利用者の満足度			
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	20	4	16
②サービスの質や量は向上しているか。			
③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。			
④利用者への情報提供が十分になされたか。			
【評価の理由】			
利用者アンケート結果 【施設の使いやすさ】 (H30)満足67.4%・やや満足12.1%、(R1)満足73.3%・やや満足11.9%、(R2)満足75.7%・やや満足16.2%、(R3)満足70%・やや満足18.1% 【職員の対応】 (H30)満足64.9%・やや満足11.2%、(R1)満足80.2%・やや満足10.9%、(R2)満足92.1%・やや満足7.9%、(R3)満足79%・やや満足10.5% 利用者アンケートの結果、施設の使いやすさや職員の対応について、利用者から高い満足が得られている。 また、利用者からの意見や要望についてはアンケート等を通じて把握し、改善できる部分は対応を行っている。			
2 効率性の向上等に関する取組	30		18
(1) 経費の低減等			
①施設の管理運営において経費の削減が図られているか。	20	3	12
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。			
【評価の理由】			
支出の推移: (H30)6,749,144円、(R1)6,745,603円、(R2)6,406,107円、(R3)6,641,504円 令和2年度に支出額が減少しているのは、新型コロナウイルス感染拡大により施設を休館としたことによるものではあるが、継続的に経費削減に努めている。			
(2) 収入の増加			
①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。	10	3	6
【評価の理由】			
事業収入の推移: (H30)106,800円、(R1)114,200円、(R2)44,100円、(R3)48,300円 施設の利用は無料であるが、自主事業実施時に利用者から参加料金を徴収している。 令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業があるため、収入が減少している。			

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組	30		18
(1) 施設の管理運営の実施状況	15	3	9
①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。			
②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。			
③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			
【評価の理由】			
事業計画等に基づき、利用者サービスに影響しない人員配置、勤務体制を整えているほか、地元出身職員を配置している。また、防災や人権・同和問題、感染症対策等の各種研修を実施している。			
(2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など	15	3	9
①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)の遵守等に遺漏はないか。			
②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。			
③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。			
④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。			
【評価の理由】			
最低賃金法や男女雇用機会均等法などの各種法令を遵守し、個人情報保護のための対策も適切に実施されている。また、日頃から施設内を点検することはもとより、安全管理マニュアルを作成し、事故発生時や災害発生時に迅速に対応ができる体制を確保している。			

【総合評価】

合計得点(100点満点)	64	評価ランク(S~E)	C
【評価の理由】	令和2年度と令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、事業計画に掲げた目標値(利用者数8,000人)を達成できなかったが、管理運営は適正に行われており、利用者の満足度も高い。		
【今後の対応】	この間、支所や公民館を含めた施設の在り方について検討してきたところであり、引き続き検討を行っていく。		

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
・施設の設置目的に世代間の交流が謳われているが、アンケートの回答者を見ると、20代から40代にかけての回答者が0になっており、目的に向けた運営状況にあるとは言えない。目的の実現および現存施設の効果的運用等を念頭に置き、新たな枠組み等に見直ししていくべきではないか。施設の設置目的自体についても検討するべきではないか。	・指定管理者評価部会の意見を受け、支所や公民館を含めた施設の在り方について検討してきたところであるが、結論を出すには至っていないため、引き続き検討を行っていく。
・ダムや天空広場、宇曾山荘、各課が所管する各種事業等、野津原の潜在価値を活かすためにも、野津原地域の拠点として、施設の在り方や位置づけを再検討する必要があると考える。地元の住民のニーズも一定数あるが、観光や産業振興など違った視点での利用ができないか柔軟に検討していただきたい。	

【R4年度 指定管理者評価部会の意見】

・指定管理者が行っているいくつかの事業は、野津原支所が管理する多目的ホールや野津原地区公民館など、多世代交流プラザとして管理している公の施設の範囲外で行われているものが多い。こうした点は、事故があった時の責任の所在などが問題にならないかという点が懸念される。一方で、多世代交流プラザ内の大ホールの稼働率は低く、専用設備として公の施設という位置付けによる管理を行う必要があるのか疑問である。
・指定管理者制度という枠組みを超える話になるが、多世代交流プラザ内の大ホールなどは、放課後・夏休みには児童・生徒のための勉強スペースの提供、平日の昼間にはビジネスパーソンへの仕事の提供等、幅広く活用した方が有効ではないかと考える。